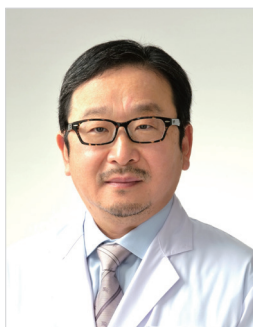


7月

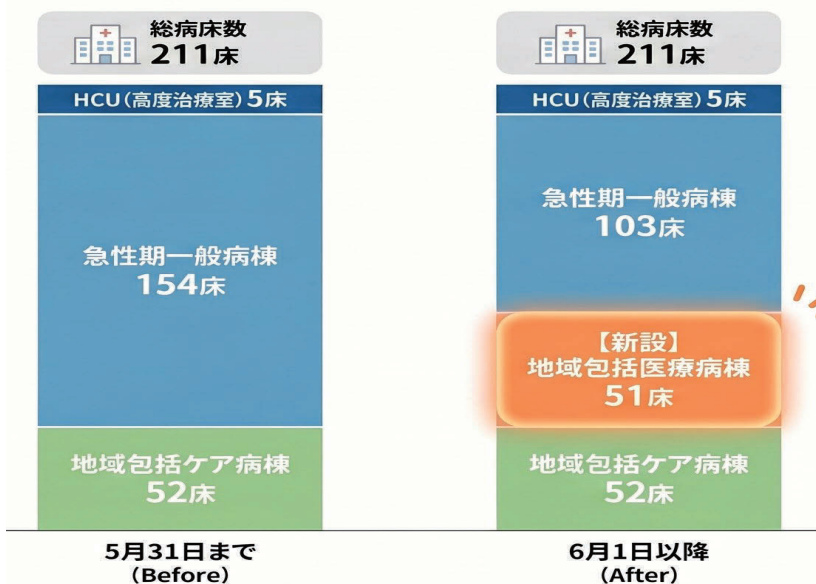
地域包括医療病棟を新設しました(県内2例目)

— 変化する地域の医療ニーズに応じていくために —

富山ろうさい病院長 かどや 直孝
なあたか 角谷


令和8年6月より富山ろうさい病院では急性期病棟の一つを地域包括医療病棟に転換しました。この病棟は増え続ける高齢者の救急搬送や緊急入院に24時間、365日対応するための病棟で、病棟専属のリハビリ療法士や栄養士の配置を行い、急性期の医療を提供するとともに、早期に機能回復支援を両立させ、急性期病棟と同じ看護師の配置を行いながら多職種協働で患者さんの早期復帰をお手伝いします。国もこの病棟の導入を政策的に推し進めていますが、県内ではまだ導入が進んでおらず、当院が二例目の導入例となります。

2026年6月1日「機能別病床数」のビフォー・アフター



今回の病床機能転換により富山ろうさい病院ではHCU(ハイケアユニット) 5床、急性期病棟103床に加え、地域包括ケア病棟52床、地域包括医療病棟51床を持つことになります。それぞれの病棟機能の違いは次頁以降に掲載していますので、ご参照いただければと思います。

人口減少が進みながらも高齢者の救急症例が増えていくという地域の実情に沿った病床機能転換になると考えています。今後とも市民の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

富山ろうさい病院では、毎月、ケーブルテレビ「NICE TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2026年7月1日～7月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮) 带状疱疹後の痛みと治療について」

(出演者) 第二麻酔科部長 河田 将行



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/>

富山ろうさい病院の各病棟機能と

これまでの病棟構成と機能

HCU(ハイケアユニット)

重症ICUと急性期の架け橋



高度治療室や準集中治療室とも呼ばれ、重症患者のためのICU（集中治療室）と急性期一般病棟の中間にある病棟です。様態がやや安定した患者や大きな手術の経過観察などを集中的に行います。

急性期一般病棟

緊急・集中的な治療と症状観察



令和8年6月1日より新設

地域包括医療病棟

高齢者救急と早期復帰の両立



当院では、これまでのHCU・急性期一般病棟・地域包括ケア病棟に加え、「地域包括医療病棟」を新設し、病床の再編を行いました。

高齢者などの軽度・中等度の救急搬送や入院を積極的に受け入れるための病棟です。急性期医療の提供と早期に機能回復支援を両立させ、多職種連携によってスムーズな在宅復帰（または施設復帰）を目指します。

地域包括医療病棟新設のお知らせ

病気やけがの治療などのため、緊急で集中的な治療を必要とする患者さんを受け入れる病棟です。
24時間体制での症状観察や迅速な治療を行います。

地域包括ケア病棟

自宅・施設への安心な退院を支援



急性期治療を終えた患者さんが安心して自宅や施設へ退院できるよう、医療・リハビリ・退院支援を提供する病棟です。
多職種のチームが在宅に向けた準備とサポートを行います。

高齢化の進展により、治療後の生活を支える支援の必要性が増加し、早期に自宅や施設へ戻るための支援強化が必要になり、また、軽症～中等症の救急患者の受け入れニーズの増加など、医療だけでなく「回復支援」まで含めた対応が求められるようになりました。

地域の皆さまへメッセージ

「無理なく日常生活へ戻れるよう多職種で支援します」
入院早期から医師・看護師・リハビリスタッフ等の多職種が連携し、患者さんが安心して地域に戻る体制を構築しています。

地域全体での連携と協力をお願い

ケアマネジャー、施設関係者、そしてご家族の皆さまと手を取り合い、一丸となって地域医療を支えていきたいと考えています。

